



ご っ た に 83号

2016年10月

事務局：平成医療短期大学 岐阜市黒野 182

TEL & Fax：058-234-6763

E-mail:jimu@gifu-ot.com <http://gifu-ot.com>

## 「新企画：私の職場の強み」

～第1回 岩砂病院・岩砂マタニティ～

### 目次

- ・巻頭言「武士道に学ぶ」
- ・活動報告（JRAT岐阜、訪問リハ、地域リハ推進部）
- ・ごったに広報部アンケート集計結果
- ・私の職場の強み（岩砂病院・岩砂マタニティ）
- ・突撃！となりの作業療法士
- ・研修会案内
- ・事務連絡（会員名簿訂正について）

# 武士道に学ぶ

岐阜保健短期大学

藤井 稚也

私は今、『死ぬことと見つけたり』（上下巻，隆慶一郎，新潮文庫）を読んでいる。葉隠武士として生きる3人を主人公に、武士道、そして生死や威信をかけた生きざまが描かれ、感銘を受けている次第である。

そもそも、葉隠が世に知られたのは、佐賀藩士であった山本常朝の口述をもとに書された葉隠聞書が始まりである。その中でも『武士道と云うは死ぬ事と見つけたり。二つ二つの場にて、早く死方に片付ばかり也。……中略……胸すわって進む也。凶に当らず、犬死などいふ事は、上方風の打ち上りたる武道なるべし。』は有名な一節である。通例訳は諸説に譲るが、己の道を必死になって進め、夢や目標を達成するために楽な道と険しい道があれば迷わず険しい方を覚悟して進め、例え当てが外れていたとしても無駄ではない。それを馬鹿にする者は今時の……といった武士道指針は、我々、作業療法士にとっても他言ではないと感じるところである。

近年、全国の作業療法士有資格者数は7万人を超え、毎年4000人以上増加し続けている。また、特筆すべきことに、ワークライフ・バランスを考える上での指標である女性就業率は、30～49歳で76%以上（男性91%以上）、50歳以上で80%以上（男性87%以上）\*1であり、男女ともに長く作業療法士として働くことができる。それゆえ、岐阜県内外を問わず、複数の病院・施設では作業療法士数の増加に伴い、縦横の組織や教育システムの構築が急がれている。作業療法士は安定職といった印象をもたれるかもしれないが、ご存知の通り、資格を取得し年数を重ねれば安泰というわけではなく、心・技・体の研鑽は必須である。あえて極論を言えば、医療専門職として患者との信頼構築に必要なことは技であろう。技を操るには相応の知識と熟練が必要であり、それを身につける覚悟も必要である。経験としての量質転化は否定しないが、日進月歩の医療の常識や制度を習得し体現化することは生易しいことではない。もう誤魔化しは通用しない。この時代だからこそ、組織としての質、個人としての質を充実させ、発展を図ることは最重要課題ではなからうか。

最後に、常朝が武士道について述べた時代はすでに戦国の世が終わり、平穏な元禄時代であった。武士道は必要とされることもなく、時にそれさえも邪道と非難されることもあったであろう。新たな思想や文化、概念が当たり前前に流布しているのである。常朝は、そのような時代の到来を知りながらも、武士道とは何かを語ったのである。何故であろうか。決して、昔を美化したり懐かしんだりしていたわけではないであろう。作業療法士の世界観もどこか似ているのではなからうか。自戒と決意を込めて。

\*1 資料：平成28年医療従事者の需給に関する検討会資料6

## 【熊本地震における JRAT 岐阜として被災地支援に参加して】

榎田 臣 弘（岐阜大学医学部附属病院）

平成 28 年 4 月 14 日、16 日に熊本地方を震源とする震度 7 の地震が発生しました。JRAT 本部から各県の JRAT 代表に要請があり、岐阜県は 5 月初旬に申請しましたが日程の関係で、5 月 23 日から 26 日まで 4 日間、PT・OT・ST 各 1 名が熊本へ派遣されました。

事前の準備に関する情報が少なく、最低限必要と思われるパソコンや寝袋、メジャーなどの測定機器や工具セットを持参しました。しかし公共交通機関を利用し現地に到着すると、車が無いと避難所にも行けないことがわかり、初日は移動とレンタカーを借りること、被災地の情報収集を行いました。

2 日目は最も被害の大きかった益城町での活動でした。PCAT からの依頼で、医療・福祉的な介入が必要と思われる避難所利用者を 2 次避難所から福祉避難所へ移動して頂けるように案内をするという内容でした。避難所では担当保健師から該当者の情報を聴取し、在室している方には直接説明させていただき、不在の方には保健師に説明を依頼しました。

3 日目も益城町での活動で、各避難所で生活不活発病発症リスクの高い方を保健師から聴取し、避難所を巡回して、動作指導や環境整備を行いました。また、避難所で貸し出されている福祉用具の整備点検を実施しました。仮設トイレや段差には既に JRAT が介入し手すりなどが設置されておりましたが、避難所の環境も日々変化しており、中には高さが低すぎるものや位置が適切ではない箇所があったため、それらを修正しました。

4 日目は熊本市北部と中央部の避難所を回りました。避難所のミーティングに参加した際、他の避難所から移ってきたばかりで女性スタッフに拒否的な方に対して介入依頼がありました。男性の JRAT スタッフで対応し、段ボールベッド、手すり使用など環境調整・動作指導をしました。また、同行していた医師の指示により近医での診察を受ける運びとなりました。

毎日夕方に JRAT 活動本部で報告会があり各チームでの情報交換や引き継ぎ等も行いました。さらに各避難所でも毎朝もしくは夕方保健師ミーティングもあり他団体との情報交換も行われました。

以上のように被災地では実際に JRAT スタッフがリハビリテーションを行う事は少なく、各避難所の保健師もしくは看護士等からの情報をもとに被災者のアセスメントや環境整備を行い、その場限りの支援になるのではなく、可能な限りその地域での医療に繋げることが重要と思われました。さらに、被災地では様々な団体が同時に介入しているため、介入が重複する事や、対象者の負担にならないように注意するため現地に常駐している保健師等を介した活動が重要です。

実際に JRAT として参加し、被害の大きさを実感するとともに、岐阜県における早急な災害対策の必要性も実感しました。今後 JRAT として派遣される方は事前準備にながが必要かということ詳しく調べておく必要があると思います。また、職場（所属施設長等）の理解を得ることも大切だと思います。



## 【第 7 回訪問リハビリ地域リーダー会議】

岐阜県リハビリテーション連絡協議会 訪問リハ推進部会

西 中 美 穂（訪問看護ステーションハーブ）

・平成 28 年 5 月 20 日（金）～ 21 日（土）/タイム 24 ビル（東京都江東区）/参加者：168 名（各都道府県の PT・OT・ST）

本会議に出席させて頂くのは今年で 3 回目ですが、年々会議が盛り上がっていくのを感じました。会議では財団の活動報告や今年度の研修課題の提示がされました。

課題となったのは、PT・OT・ST を活用してもらう為に、県行政や医師会にリハビリテーションの役割を知ってもらうことです。「訪問リハビリでは活動・参加のアプローチを行うことが出来、介護予防や自立支援に繋げることが出来る取り組みである」という我々の役割を理解してもらうことが、地域連携、リハ資源を活用してもらう為にも重要になってきます。

2 日目に行われたグループワークでは、各県で県行政や医師会との関係について現状を報告し、意見交換をしました。岐阜県は、研修会費として県からの支援を受けていますが、県行政や医師会との繋がりが全く無い県もあり、各県によって状況は様々でした。難しい状況もある中、今後は、全国的に可能な形から繋がりを作っていこうという話がされました。

昨年度の訪問リハビリテーション研修会では、活動・参加に繋げる取り組み事例を集めました。これは、行政にリハビリテーションの理解を広める取り組みの一環です。

28 年度の訪問リハビリテーション研修会は、平成 29 年 2 月に予定しています。詳細は後日お知らせします。訪問に携わる方のみならず、現状を知るためにも、是非多くの方に参加して頂きたいと思います。

# 【生活行為向上マネジメント推進委員会 活動報告】

地域リハ推進部 生活行為向上マネジメント推進委員長  
須 貝 里 幸 (大垣市民病院)

## ★第1回 現職者選択研修 MTDLP 基礎研修

・平成 28 年 8 月 28 日 (日) / 山田病院 / 参加者：34 名

※ベテランから新人まで多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。おかげさまで、岐阜県士会では基礎研修修了者 222 名となりました。目標の 60%までには、まだまだです。本年度は、もう 1 回研修会を行う予定です。ご参加お待ちしております。

## ★MTDLP 事例検討会 (中濃地区 OT 勉強会を兼ねて)

・平成 28 年 9 月 18 日 (日) / 関中央病院 / 事例発表者：3 名 (MTDLP 実践者研修修了) / 参加者：19 名

<事例発表者の声> 様々な角度から意見を聞いて良かった。発表することで MTDLP 実践の仕方が、より分かった。また、臨床で実践したいと思える、よい機会であった。

※身障・精神領域問わず、事例について意見交換、MTDLP の実践について発表いただきました。1 つの事例を皆で共有し、多角的に検討できたと思います。発表者の方も聴講者も視点が広がる良い場であったと思います。

### ◆MTDLP 事例発表者募集

問い合わせ先：

生活行為向上マネジメント推進委員  
須貝里幸

大垣市民病院  
リハビリテーションセンター  
Tel：0584-81-3341

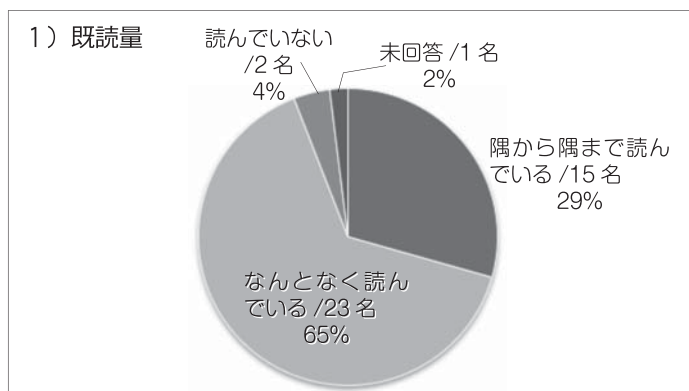


## 広報誌「ごったに」に関するアンケート 集計結果

### 0. アンケート実施状況

- 1) 実施日：平成 28 年 5 月 22 日 (日)
- 2) 実施場所：第 20 回岐阜県作業療法学会会場 (大垣市情報工房)
- 3) 対象者：学会参加者 (新人以外)
- 4) 回答者数：51 名
- 5) 回収率：35.4% (51 / 144 名)

### I. 広報誌の内容について



## 2) 現在の内容（読みたい内容・知りたい情報・興味のある内容に✓）

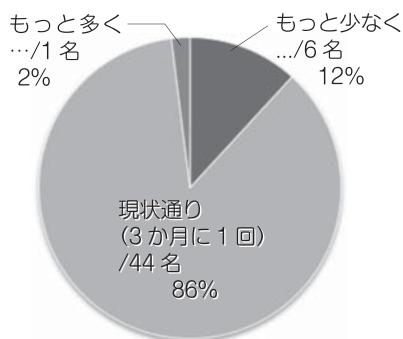


## 3) 新しい内容（何か良い案がありましたら…/自由記載）

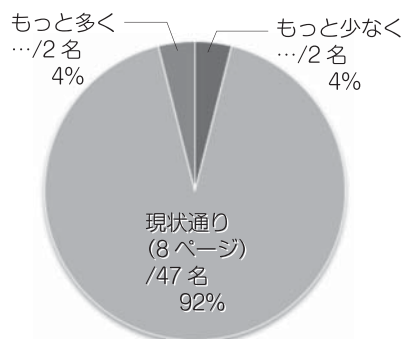
- ・ 自助具やスプリント、こんなことやりました等（男性、1-5年目、身障、中濃）
- ・ 地域に向けたOTの活動、地域リハ推進部の活動（男性、6-10年目、身障、岐阜）
- ・ 良い文献など、本など（男性、11-15年目、身障、岐阜）
- ・ トピック的な書籍、本（男性、16-20年目、教育、岐阜）
- ・ イクメン（男女の家事分業）→ 仕事と家庭のやりくり（男性、16-20年目、老年期、岐阜）
- ・ ①活かせる！実践レクリエーション・紹介（シリーズで）
  - ②私の健康法（シリーズで/例：ストレッチ方法、押して元気になるツボ）
  - ③私の病院・施設の知ってほしいこと・頑張っていること等（男性、21-25年目、身障、未回答）

## II. 広報誌の発行方法について

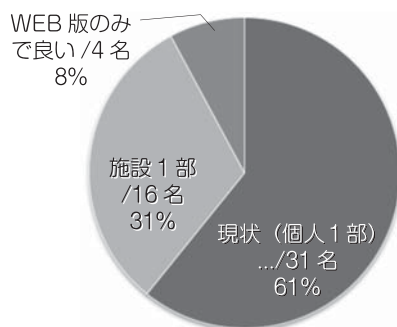
### 1) 発送回数



### 2) ページ数



### 3) 発行部数・方法



### 【理由など/自由記載】

#### 現状通り（個人1部）

・ 個人に1部の方が目を通しやすい。節約で考えると施設に1部の方が良いかもですが…

・ 送料や印刷代を考えると、施設に1部が良いですが、なかなか目を通してもらえない可能性がある

#### 施設1部

・ 閲覧する人が少ない

・ 他にお金を回せると良いかも

#### Web版のみ

・ 経費削減が良いのではないのでしょうか

・ もったいないので

・ 携帯の案内メールに「ごったに発行」という題名をつけて、アドレスをメールでお知らせする

## III. その他（自由記載）

- ・ お疲れ様です。
- ・ いつも楽しみに拝見させていただいています。広報誌を通じて、県士会員の距離が近付くような内容であってほしいです。会員の声により掲載されることを期待しています。

アンケートのご協力、ありがとうございました(\*^\_^\*) 広報部（会員向け）



# 私の職場の強み

第1回

## 岩砂病院・岩砂マタニティ



住所：岐阜県岐阜市  
八代 1-7-1  
Tell：058-231-2631  
Mail：  
iwasaot@yahoo.co.jp

### 運転支援

2015年1月に運転支援チームを立ち上げ、運転支援におけるマニュアルを作成し、近隣の自動車教習所との連携を図り運転支援を行っています。高次脳機能評価や身体機能評価、運転基本操作の評価を行い、実車訓練として教習所での運転評価を実施しています。月2回運転カンファレンスを開催し、チームメンバーと担当スタッフで情報共有を行います。

2015年1月～2016年5月までの期間で、40名（運転獲得26名、中止6名、継続中8名）の支援を行ってきました。



### ボツリヌス毒素療法

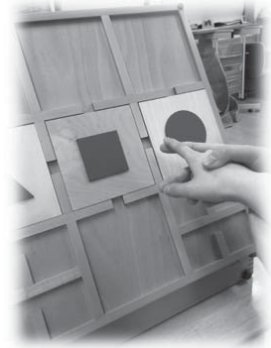
当院でのボツリヌス毒素療法は、リハビリ効果を最大限に引き出す目的で、注射とリハビリ訓練をセットで行います。2012年9月よりボツリヌス毒素療法チームを立ち上げ、2016年4月までに、30症例、130回の施注を行いました。痙縮抑制効果を最大限に引き出すために、施注前の評価を表面筋電図・モーターポイント同定を含めて行い、実際の施

注場面では、筋電刺激・エコーガイド下にて正確に筋肉内への薬剤注入に努めています。施注場面では、Drのみではなく、Nrs・放射線技師・リハビリスタッフのチームで実施しています。



### 認知神経リハビリテーション

当院では上肢機能回復訓練の一環として、認知神経リハビリテーションを実施しています。認知神経リハビリテーションとは、治療の対象を動かなくなった身体ではなく、身体を動かしている脳と捉え、患者様に身体を十分に感じてもらうことで、身体イメージをつくりだし、それをもとに目的とする動作へと展開していきます。当院では、3カ月に1度定期勉強会を開催し、多職種が集まり知識の向上を図っています。是非、岐阜県認知神経リハビリテーションで検索してみてください。



あなたの職場を紹介しませんか？

ご希望の方は、岐阜中央病院 田中 まで。お待ちしております！！





## 私にとっての OTとは

医療法人清光会 巣南リハビリセンター  
坪内 貴志先生からの紹介

田 垣 敦 朗



養成学校を卒業し、最初の仕事は作業療法室の立ち上げでした。新卒2名で始まった作業療法室。OTとはと考えることもできないまま、OT3年目には、当院で始まった小児発達障がいのリハビリテーションの担当となりました。子どもを理解できないまま、その場しのぎで、楽しく遊んでくれたらいいなど汗たぐいで動いているだけでした。

一人の子どもを通して養育者、保育園担任の話しを伺うと、目先の行動に目が向き易く、その場の対処をどうしたら良いかという悩みが多く、自分たちの困り感が中心でした。これは開始当初の自分と同じであると気づきました。その場の対処ではなく、本人の立場になって子どもを「理解すること」「こう感じて、こう思っているのではないか」を考えることこそが最も大切であることを学びました。

現在では地域の保育園や療育機関と連携も増え、地域の保育園への巡回訪問相談も開始しています。セラピィを通して、養育者の方々や療育機関の方々に、背景にある子どもの「意図」や「思い」「行動特性」お伝えし、子どもにとって楽しい毎日が過ごせるための架け橋になりたいと思っています。

平成18年 豊田学園医療福祉専門学校  
(現・岐阜保健短期大学) 卒業  
作業療法士免許取得  
平成18年 JA岐阜厚生連 西美濃厚生病院  
リハビリテーション科

### 平成28年度 第2回 現職者共通研修会の案内

- 【日 時】平成28年12月11日(日) 9:30～12:40(受付開始9:00)  
 【場 所】近石病院 6階 会議室(岐阜市光町2丁目46番地 / 058-232-2111)  
 【日 程】9:00～ 受付  
 9:30～11:00 講義①「保健・医療・福祉と地域支援」  
 講師：寺倉恭子氏(訪問看護ステーションハープ)  
 11:10～12:40 講義②「事例検討」・「事例報告」  
 【受講料】 1講義につき500円(当日支払) ※受講者  
 【申込み方法】 研修会参加申込手続きフォーム <http://fs219.xbit.jp/b588/form2/index.cgi>  
 ※11月1日より申し込みを受け付けます。  
 【申込期限】 平成28年12月2日(金)  
 【定 員】 40名  
 【その他】 当日、生涯教育手帳を持参してください。  
 昼食は各自でご用意ください。会場は飲食可能です。  
 【連絡先】 502-0901 岐阜市光町2丁目46番地 近石病院 首藤智一  
 Tel:058-232-2111 FAX:058-294-7380 Email:kyoiku@gifu-ot.com

### 平成28年度 第2回 現職者共通研修会の案内(事例報告者募集)

- 上記、第2回 現職者共通研修会「事例報告」の事例報告者を募集しています。  
 【応募方法】 発表希望者は「氏名・所属・会員番号・分野(身体障害、老年期障害、発達障害、精神障害)」を明記の上、上記連絡先へEmailにて申し込みください。  
 \*発表者には申し込み後、一週間以内に現職者研修部より投稿規定等の連絡をします。  
 【事例報告の申込期限】 平成28年11月7日(月)  
 【発表原稿の提出締め切り】 平成28年11月28日(月)

## ■ 会員名簿の訂正について

P12 「特別養護老人ホーム サンヴェール大垣」の地域分類修正  
(誤) 岐阜 → (正) 西濃

P20 各圏域の施設数  
岐阜圏域 (誤) 55 施設 → (正) 54 施設  
西濃圏域 (誤) 26 施設 → (正) 27 施設

P20 介護老人保健施設 岐阜リハビリテーションホームの会員数  
(誤) 2名 → (正) 1名

P21 左下の表の圏域名  
(誤) 西濃圏域 → (正) 東濃圏域



平成28年9月30日現在 岐阜県作業療法士会会員数488名(休会9名を含む)  
所属施設数 143施設

### 岐阜県作業療法士会ニュース

「ごったに」編集：岐阜県作業療法士会（広報部）

岐阜中央病院 リハビリテーション療法課 作業療法室

〒501-1198 岐阜市川部3丁目25番地

TEL. 058-239-8111 FAX. 058-239-8216

岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科 作業療法室

〒502-0812 岐阜市八代1-7-1

TEL. 058-231-2631 FAX. 058-294-1480

#### 【編集後記】

今年の秋は雨の多い年でした。台風など自然災害にも十分注意する必要がありました。しかし、味覚の秋と言われるように“食”に関しては楽しい季節となりました。体調には十分に気を付け、秋という季節を楽しみたいものですね。